令和６年度　学校図書館　全体計画

「学校図書館全体計画」とは、各学校における学校図書館の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して学校図書館の活用を図るための方策を総合的に示した教育計画である。

作成に当たっては、学校の教育目標達成のための学校図書館の目標と指導の重点を明確にし、そのために学校図書館がどのように機能するか、教育課程の中でどのような取組を行うか、各学校の実態に即し、具体的に示すことが重要である。

令和６年度　**学校図書館全体計画**　江戸川区立松江第五中学校

学校教育目標

・よく学び深く考えた行動のとれる生徒の育成
・心身ともに健康で思いやりの心を持った生徒の育成
・責任を重んじ自主性に富んだ生徒の育成

学校図書館は教育課程の展開に寄与するとともに、生徒の健全な教養を育成する。

朝読書は落ち着いて行える。校外学習や宿泊行事の事前学習はするが、教科での図書館利用が少ない。

学校図書館の目標

読書や調べ学習を通して考えを深め、想像力を育む心の育成に努める。

ねらい

①生徒の読書意欲を高め、豊かな心を育成する。
②多様な資料から適切に情報を選び、情報活用能力を育成する。

指導の重点

①計画的な読書活動と学校図書館のる用を推進する。
②学校図書館を活用した調べ学習を充実させる。

各学年の重点目標

１学年…図書を利用し、進路学習（職業調べ）、SDGｓ（食）や校外学習の取り組みに役立てる。
２学年…図書を利用し、林間学校、SDGｓ（自然環境）等の調べ学習、に意欲的に取り組む。
３学年…図書を利用し、修学旅行、進路やSDGｓ（歴史・文化）に関する系統的な情報収集能力を養う。

具体的な取組

【各教科】
・図書館を利用し、調べ学習やグループ学習の場とする、

【読書科】
・図書館を活用し、ＳＤＧｓに関する調べ学習を行い、世界的な課題に対する理解を深める。

【総合的な学習の時間】
・課題の解決、探求に主体的に取り組む活動を通し、情報処理能力を育成する。

【特別活動】
。・図書委員会を中心に図書館運営を行い、図書館の利用を増やす

【特別の教科　道徳】
・読書による疑似体験や図書館資料を通じ様々な生き方や考え方に触れ、自らの考えを深める。

【家庭・地域、区立図書館職員との連携】
・学校応援団（図書ボランティア）及び松江図書館の協力を得て、図書の整理・管理に努める

朝読書の推進　弁論大会の実施　図書館経営評価の実施　図書環境の整備・充実